

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2024年8月25日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃 美 歌 5 4「喜 び の 日 よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌517「我に来よと主は今」	一 同
教会学校	「 獄 中 か ら の 手 紙 」	牧 師
讃 美	讃美歌142「栄えの主イエスの」	一 同
聖書朗読	創世記27:30-38	
奨 励	創世記の福音(第24回)	牧 師
主 題	「祝福の神を求めよう」	
讃 美	讃 美 歌 5 2 5「恵 み 深 き」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃 美 歌 5 4 6「聖 なる かな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 13:15-41	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないキリストチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

8/25(日) 聖日礼拝
/26(月) 13:30説教塾(一番丁)
/27(火)
/28(水)
/29(木)
/30(金)
/31(土) 13-16子供オプンハウス

《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように



良書ハイライト

「律法主義からの解放」

スティーブ・マクベイ著「恵みの歩み」(ファミリーネットワーク、2001)

多くのクリスチャンの人生で矛盾があるのは、「律法に死んだ」(ローマ7:4)ということを実に理解していないからです。律法は「～しなければならない。～すべきである」と言います。しかし、恵みは「**そうしたい!**」とその人に言わしめるのです。聖書とクリスチャンの経験は、規則によって生活することでは決して勝利のライフスタイルをもたらさないと立証しています。長年「良き」クリスチャンになるためには教会に出席し、聖書を読み、祈り、キリストを人々に伝えることなどをしなければならないと信じていました。これらの行動はキリストの人生をあらわしている者にとって人生の重要な部分です。しかし、これらは**キリストとの親しい交わりの結果**であって、親しさを得るための方法ではないのです。

このような律法主義的アプローチはクリスチャン生活に喜びを生み出しませんでした。どれほど頑張っても十分であると感じたことはありませんでした。自分の人生で何回かまとまって聖書を読み、祈るために朝早く起きたことがありました。息のある存在全てに伝道したものです。聖句暗記もしました。神に喜んでいただくためのクリスチャンの為すべき全てのことをトライしてみました。しかし、決して十分ではなかったのです…。

奇妙に聞こえるかも知れませんが、聖書を読まなくてもいいということに気づいた時、聖書をエンジョイして読むようになりました。クリスチャンは一体律法からどれほど解放されているのでしょうか。完全に解放されているはずですが。毎日聖書を一定時間読まなければならないという律法がありますか? そのようなものはありません。それではなぜ読むのでしょうか。御言を通して**神と交わりたい**という願いがあるからです。恵みによる聖書研究は御言への飢え渴きを造り出しますが、律法によるアプローチは、やらなければならないという疲労感を残します。律法主義者だった頃は聖書を読むという義務感に縛られていました。しかし今は**そうしたいので聖書を読む自由**があるのです。